

第6学年1組 総合的な学習の時間 学習指導案

平成31年2月8日(金) 5校時

場所 6年1組教室

授業者 担任

司書教諭

学校司書

1. 単元名「戦争と平和について考えようパートⅢ～ポスターセッションで伝えよう～」

2. 単元の目標

- 1、2学期の平和学習を基盤として、自分たちがより深めたいテーマを設定し、調べたことをポスターにまとめる。
- 調べたことを工夫してポスターにまとめ、相手意識をもって発表する。
- 学んだことをもとにこれからの自分の生き方を考える。

3. 単元の評価規準

育てようとする資質や能力及び態度	単元の評価規準
課題を見つける力	戦争体験講話や修学旅行での平和学習などの活動を通して、テーマに合った課題を見つけ、解決への見通しをもつ。
課題を解決する力	問題を解決するために、追究にあった有効な方法を選択して調べることによって、人との関わりを深めたり、自分なりの考えを見つけたりする。
自分を表現する力	調べたことや気づいたことをもとに自分の主張を分かりやすくまとめ、相手意識を持って工夫して発表する。
生活に生かす力	学習を通して自分の成長に気づいたり、学習の中で身につけた知識・技能・態度などを自分の生活の中に生かそうとしたりする。

4. 単元設定について

(1) 児童の実態

(省略)

(2) 単元の内容について

戦後から70年以上が過ぎ、子ども達はもちろん子ども達の祖父母の世代も戦争経験のない世代になりつつある。しかし、世界に目を向けると今もなお各地で紛争や争いが起こっている現状がある。このような世界情勢の中で、実際に日本が経験した戦争や原子爆弾を過去のものとし風化させていくのではなく、何があったのかを学んでいくことで、戦争の悲惨さや恐ろしさを知り、平和の大切さを感じさせることは、平和な社会や世界を創っていくために非常に大切であると考え。また、戦争の悲惨さを理解し、命の尊さを感じることはこれからの自分の生き方を考える手助けとなると考える。

(3) 指導について

本校では、1学期から継続して平和学習に取り組んでいる。1、2学期に行った平和学習パートⅠ・Ⅱでは、広島の子爆弾や戦時中のくらしや人々の様子について学習した。また、修学旅行の際には、実際に広島平和公園を訪れ、語り部さんから被爆体験を伺ったり、平和公園を訪れている外国人の方へ戦争についてのインタビューを行ったりした。また、学習発表会では「はだしのゲン」を演じ、発表することを通して戦争への理解を深めてきた。さらに、地域の方に実際の戦争体験を話していただく機会も設け、身近な問題として捉えることができるよう工夫してきた。

本単元では、平和学習パートⅠ・Ⅱで学んだ視点を生かし、グループごとにテーマを決め戦争についてより深く探究する活動に取り組む。総合的な学習の時間では「探究的な見方・考え方」「探究的な学習」が目標に示されている。新学習指導要領解説においても「探究の過程」として、「課題設定」⇒「情報の収集」⇒「整理・分析」⇒「まとめ・表現」が示されている。この課程は学校図書館活用と非常に深く関わっている。そこで、指導にあたっては司書教諭、学校司書と連携しながら学校図書館を活用しながら単元を展開していく。その手立てとして、学校司書と連携して、資料や図書の選書や準備を行う。また、子ども達が並行読書を行うことができるようにブックトラックに図書を準備した。また、情報カードによる情報の収集、整理・分析の学習を担当、司書教諭、学校司書が連携して取り組むようにした。このように、学校図書館と連携し情報活用スキルを身につけながら学習に取り組むことで探究的な学習になるよう留意した。

また、学習の最終ゴールとして、ポスターセッションによる発表の場を設定している。ポスターセッションでは、友達、地域の方、保護者の方に向けて学習の成果を発表する。学習のゴールにポスターセッションを設定した理由としては次の3点がある。①発表する機会が複数回、保障されるため、思考錯誤しながらより質の高い発表に高めることができる。②聞き手との距離が近いため、質問や感想交流など、聞き手との対話を通して自分の考えを確かめたり深めたりすることができる。③グループ全員が責任のある役割を担いながら協力して活動する必要があるため主体的で協同的な学びができる。これらのポスターセッションのよさを生かせるように学習を展開していきたい。

本時では、小テーマごとに各自がまとめたポスターの下書きをグループ内で発表し合い、よりわかりやすい発表にするための改善点をお互いに考える活動を設定している。友達の発表を聞いたり、友達からアドバイスをもらったりすることを通して、自分の発表の良かった点やより相手にわかりやすく伝えるための改善点に気がつくことをねらいとしている。そのために、友達の発表を聞く際の視点として、改善のポイントを全体で確認することで、ポイントを意識しながら友達の発表を聞くことができるようにしたい。

5 指導と評価の計画 (全50時間)

時数	過程	主な学習活動	評価基準				学校図書館の活用	各教科等との関連	
			課題を見つける力	課題を解決する力	自分を表現する力	生活に生かす力			
10時間	1	課題の設定 ○平和学習について見通しをもつ。 ○広島原爆について知ろう。	・学習の見通しをもっている。				○選書・資料の準備		
	3	情報の収集 ○広島原子爆弾や当時の時代背景について調べる。 ○実際に平和公園を訪れ、情報を収集する。 ・平和記念資料館を見学したり、被爆された方からお話を聞いたりする。 ・平和公園を訪れている外国の方にインタビューをする。		・図書資料等から必要な情報を見つけ、ワークシートにまとめている。	・積極的にインタビューに取り組んでいる。				
	2	整理・分析 ○1学期の学習で学んだことを平和新聞にまとめる。		・調べたり、インタビューしたりしてわかった情報を整理している。	・工夫してわかりやすく新聞にまとめている。				
	1	まとめ・表現 ○お互いに発表し聞き合う。			・戦争の悲惨さを知って、命を大切にしようとする。				
20時間	2	情報の収集 ○戦時中の人々のくらしや思いについてさらに知ろう。				○選書・資料の準備	社会科 「長く続いた戦争と人々のくらし」 「新しい日本、平和な日本へ」(東京書籍)		
	3	整理・分析 ○戦時中の人々のくらしや思いについて知る。		・地域の方のお話を聞いたり、戦時中の人々のくらしや思いを学んだりしたことわかったことをワークシートにまとめている。				国語科 「ヒロシマのうた」(東京書籍)	
	15	まとめ・表現 ○学習発表会で、1・2学期に学んだことを「はだしのゲン」を演じることを通して発表する。			・げきを通して戦時中の人々の思いを伝える。 ・身近な人の体験を聞いたり、げきを演じたりすることで、身近な問題として戦争を考え、命や平和を大切にしようとする。				
20時間	2	課題の設定 ○戦争についてより深く知り、伝えよう。 ○1・2学期の平和学習を振り返り、自分が戦争についてさらに探求したいテーマを考える。 ○グループの友達と話し合い、テーマを設定する。	・1・2学期の学習を生かして、テーマに合った課題を考えている。 ・友達と折り合いをつけながら適切な課題を設定している。			○選書・資料の準備 ○情報カードの使い方 ○著作権・引用について ○情報の分類・整理の仕方 ○ポスターの作成	国語科 「町の幸福論—コミュニティデザインを考える」(東京書籍)		
	3	情報の収集 ○設定したテーマについて、図書資料から必要な情報を集め、情報カードにまとめる。		・図書資料から必要な情報を見つけ、情報カードにまとめている。					
	2	整理・分析 ○集めた情報をまとまりごとに分類する。 ○分類したまとまりから小テーマを設定する。 ○小テーマごとに説明するために効果的な情報を選ぶ。 ○小テーマごとに聞き手にわかりやすく伝えるためには、どのような順番で情報を提示したり、どの資料を使うとよいか考える。 ○グループ内でポスターの下書きを発表し合い、自分や友達の改善点や良かった点を考える。 【本時10/20時間】		・集めた情報をグループの友達とまとまりごとに分類し、小テーマを設定している。 ・小テーマごとに効果的な情報を選んだり、提示の仕方を工夫したりしている。 ・グループ内でお互いにポスターの下書きを発表し合うことを通して、自分や友達の改善点を見つけている。					
	3	○整理・分析した情報をポスターにまとめる。			・聞き手にわかりやすく伝えるように工夫してポスターにまとめている。			○ポスターの作成	国語科 「出会いにありがとう」(東京書籍)
	2	○プレ発表会を行い、お互いの改善点を考える。		・プレ発表会を通して、自分や友達の発表の改善点を考えている。					
	2	まとめ・表現 ○プレ発表会をもとに、自分達の発表を改善する。 ○保護者・地域の方に向けてポスターセッションを行う。			・聞き手にわかりやすく伝えるように意識して調べたことを発表している。 ・友達の考えを尊重しながら聞き、意見を交流している。 ・ポスターセッションを通して、気がついたことや自分の考えをワークシートに書いている。				
1	振り返り ○本単元の学習を振り返る。				・1年間を通して学んだことをもとに、これからの自分の生き方を考えようとしている。				

6 本時の学習

(1) ねらい

○グループ内の発表を通して、自分や友達の改善点に気がつくことができる。

(2) 展開

学習活動	○教師の支援 ◆評価
<p>1 本時のめあてと学習の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>よりよいポスターにするためにアドバイスしよう。</p> </div> <p>2 教師が示した例を全体で話し合い、改善する際のポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見出しがわかりやすく書かれているか。 ・文章は読みやすいか。(誤字脱字はないか) ・わかりにくい表現や言葉がないか。 ・伝えたい内容に合った資料を選んでいるか。 <p>3 グループ内で各自が調べたテーマについて話し合い、ポスターの改善を図る。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○本時の学習のめあてを掲示し、学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>○改善ポイントがおさえやすいような例を準備する。</p> <p>○個人用とグループ用に例を配布し、作業しやすくする。</p> <p>○気づいたことは付箋に書いて貼るように伝える。</p> <p>○出されたポイントは黒板に箇条書きして、後で確認できるようにする。</p> <p>○付箋は1枚に1つの内容を書くように伝える。</p> <p>○関連図書を教室内に準備しておき、すぐに調べられるようにしておく。</p> <p>○話し合いが進みにくいグループには、改善ポイントを一緒に確認する。</p> <p>◆改善ポイントをもとに、よりよいポスターにするためのアドバイスができたか。</p>

(3) 研究の視点

○グループ活動を設定したことは、自分や友達の改善点に気がつくために有効であったか。

7 研究協議の概要

参加者	校内 21名、校外 8名 計 29名
授業及び研究協議の概要	<ul style="list-style-type: none">・授業では、関ヶ原の戦いのポスターセッションをモデルにし、ポスターの中で改善した方が良い部分の改善点を考えた。個人思考後、グループで考えを出し合い、相手に分かりやすく伝えることを意識して内容をホワイトボードにまとめ直した。その後、全体でどのように改善したかを取り上げ、「より見やすいポスターを作る」ためのポイントを確認した。その後、自分たちが作成している「戦争と平和について」のポスターの下書きについて、本時の学習で押さえた視点をもとに改善点を考えた。・付箋が効果的に活用されていた。付箋の色を個人で変えていたことで、誰がどのような考えをもったか、グループでどのような意見の交流があったかが明確になっていて良かった。・関ヶ原の戦いのモデルを示し、前半の部分でグループ活動を設定したことで、全員が同じ土俵に上がり活動することができていた。改善する際の視点を一人一人が持つことができていたため、自分のポスターの下書きになった時、まず自分のポスターの改善点を熱心に考える姿につながったのではないかと思った。・これまでの学習の積み重ねが子ども達の様子から感じられた。また、社会科や国語科との関連も感じられた。教科を横断的に関連させることが今後大切になると感じた。